

満足度100%。恒例となりましたコヤマ交通教育「特別講演会」 今年は木村政雄氏をお迎えし、大盛況のうちに幕を閉じました。

今年も全指連全国大会が、11月5日東京九段会館で盛大に開催されました。当社では、その前日に毎年恒例の「特別講演会」を中野サンプラザで開催いたしました。第4回の今年も、元吉本興業常務取締役でフリープロデューサーの木村政雄氏を迎え「不況をぶっとばせ！木村流オンリーワンのすすめ」と題し、吉本興業のタレントさんの秘話を交えながら「人間の賞味期限」や「企業が生き残る方法」についてお話しいただきました。今回は全国から120名を超える方にご参加いただき、皆さん熱心に聴講され、活気のある講演会となりました。終了後の懇親会には木村先生にもご出席いただき、参加者との質疑応答や名刺交換などもしていただきました。また、テーブル対抗のクイズ大会では轟会(コヤマドライビングスクールで長期経営者研修を受けたメンバーのOB会)出題の交通に関するクイズで、大いに盛り上がり、大盛況のうちに幕を閉じました。



木村政雄氏の講演に参加して...

■その話術に圧倒された90分でした！

秋の特別講演会は、例年、教習所業界とは違った部外講師による講演になっていますが、他業種の話聞かせていただけるということで、発想や考え方の切り口が従来の教習所業界のものとは全く異なった場合も多く、非常に新鮮で、毎回新しい発見があります。

そんなわけで、毎回楽しみにしている特別講演会ですが、今回は、元吉本興業常務取締役であり、「マンザイ」ブームの火付け役であったフリープロデューサーの木村政雄氏による講演ということで、非常にコンセプトが明確でわかりやすい講演でした。元吉本興業というだけあって、さすがにその話術は巧みで、まさに圧倒されながらという表現がぴったりの、あっという間の90分間でした。

内容は、企業が永続して生き残っていくためには、組織の上層部の変革と後継者の育成が必要不可欠であるということ、「賞味期限を延ばす」という表現を用いながら解説し、また、お客様

福島県 南部自動車学校 専務取締役 深谷 俊介

の興味を引くためには、オンリーワンのもの、つまり他のマネではなく自社のオリジナリティをいかに確立することができるかが重要であるということを中心に話されました。

悲観主義で閉鎖的な日本の体質の中にあって、楽しさや開放感を社内に植え付け、またお客様に対し、それを「マンザイ」という型でうまく表現できたことが吉本興業の躍進に繋がったということでした。そのノウハウの中に私たちが今後この業界で生き残っていくためのヒントが隠されていた気がします。

また、講演後の懇親会でも、他の参加者の方々と有意義な情報交換ができました。次回も、ぜひ参加させていただけることを楽しみにしています。

